

令和 6 年度  
 事務事業評価シート  
 ( 学校教育課 )  
 ( 学校給食共同調理場 )

目次

総合評価ランク

A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

1 授業の充実	
(1) 理科支援員の配置	..... 1
2 特別活動の充実	
(1) 小・中学校作品展及び音楽交歓会の開催	..... 2
(2) 大会派遣費補助事業	..... 3
3 体育・健康教育の充実	
(1) 学童スキー大会の開催	..... 4
(2) 栄養教諭による食育指導	..... 5
4 生徒指導の充実	
(1) 教育相談室設置事業	..... 6
(2) 生徒指導委員会	..... 7
5 キャリア教育の推進	
(1) 人財育成事業（教育連携パートナーシップ協定事業）	..... 8
6 特別支援教育の充実	
(1) スクールサポーター配置の充実	..... 9
7 国際化、情報化に対応する教育の推進	
(1) 英語で元気なまちづくり事業	..... 10
(2) ICT環境整備事業	..... 11
8 教育環境の充実	
(1) 小学校改築事業	..... 12
(2) 学校における働き方改革	..... 13
(3) 給食費の無償化	..... 14
9 その他	
(1) 教育広報の発行	..... 15
(2) 学校支援推進事業	..... 16



## 事務事業評価シート

施策名	授業の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	理科支援員の配置		

事業の目的・内容	理科の観察・実験活動の充実を図るため、観察実験のアシスタントとして、観察・実験活動に使用する設備等の準備、調整、片付けや試薬等の調整、調合を行う理科支援員を設置する。			
事業の対象	町内小学校			
事業費	年度	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算
	金額	1,551 千円	1,880 千円	2,362 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○理科支援員の配置 理科支援員 1 名を町内小学校に配置。3 年生から 6 年生の観察実験のアシスタントをする。 月・木：若葉小 火・金：野辺地小  ※馬門小学校の閉校により、令和 5 年度から週 4 日勤務  ○実績 3 年生 1 時間(光的当て実験に使う用具の準備 ) 4 年生 2 9 時間(人体骨格標本を使った実験の補助 など) 5 年生 6 2 時間(食塩を水に溶かす前と後の重さを調べる実験の補助 など) 6 年生 5 1 時間(豆電球と LED の消費電力の違いを調べる実験の補助 など)		
-------------------	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	<b>A</b>	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	理科支援員に実験中の様々な支援をしてもらうことで、安全・安心な授業を行うことができている。 また、教員にとっては実験器具の準備や片付けの時間を他の業務に充てることができ、働き方改革にもつながっているため、今後も継続したい。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	<b>A</b>
------	----------

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・もし必要であれば、他の教科でも支援員配置を検討してほしい。</li> <li>・専門知識の必要な理科の授業を通じ、子どもたちの興味、関心がさらに深められるようになることを希望する。</li> <li>・教員の負担軽減のためにも継続してほしい。</li> <li>・先生方の負担減に加え、学力の向上につながっている事業なので、長く継続してほしい。</li> </ul>
---

#### 評価委員意見(令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場として大変助かっている。今後も継続していただきたい。</li> <li>・十分に成果が上がっていると思う。</li> <li>・専門の支援員の必要性があるので、今後も継続していただきたい。</li> <li>・体制も整備されてきているようであるし、是非継続してもらいたい。</li> <li>・働き方改革を踏まえ、支援員により先生方の負担が減っていることは良いことだと思う。できる限り続けてほしい。</li> </ul>
--

## 事務事業評価シート

施策名	特別活動の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	小・中学校作品展及び音楽交歓会の開催		

事業の目的・内容	小中連携事業の一環であり、特に音楽交歓会においては、幼稚園や保育園と交流する機会を設けたりしている。			
事業の対象	町内の幼児、児童生徒			
事業費	年度	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算
	金額	60 千円	60 千円	60 千円

事業の実績・成果等 (数値)	<p>○作品展                  描画・版画合わせて171作品から入賞作品63点が選ばれた。                  入賞作品を各学校に移動展示し、来校者に見てもらった場となっている。</p> <p>○音楽交歓会 10月29日(火) 野辺地小学校 講堂                  各小学校5・6年生、中学校吹奏楽部、野辺地保育園の園児が発表を行った。</p> <p>※毎年カトリック幼稚園の園児をゲストに迎えていたが、今年度から町内保育所と幼稚園を1年ごとの順番にゲストに迎えることとなった。</p>		
-------------------	---	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	作品展及び音楽交歓会について、地域住民へ日頃の学習の成果を発表する場となっているとともに、児童生徒がほかの学校の子どもたちの頑張りを見ることによって、お互いの刺激になっている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	B
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場の負担軽減を検討する必要あり。(今後、必要かも含めて)</li> <li>・作品の展示や音楽を発表することによって、子どもたちも嬉しいと思うし、楽しみにしている保護者も多いと思う。また、幼、保、小、中が交流できるのもいい機会だと思う。</li> <li>・コロナも5類となり、活動がしやすくなったため、以前のような音楽交歓会に戻りつつあるが、町民に対してのアピールをもっとした方がよいと思う。</li> <li>・作品展示を公民館でも行ったり、音楽交歓会の開催案内を広くPRするなど、発表の場を多くしてほしい。</li> <li>・小学校が統合され1校になる中、幼、保、中、高の子どもたちが減っていくことは現実問題なので、どのような開催方法がよいのか検討していく必要がある。</li> </ul>
--

#### 評価委員意見(令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽交歓会出演において、町内幼保を1年ごとの順番にしたのは良い取組だと思う。作品展示や音楽発表の機会は大事だと思う。</li> <li>・心が豊かになる活動の一つとしながらも、指導する先生方の負担が大きくならないようにしてほしい。</li> <li>・各校の交流ばかりではなく、開催を広くPRしてもいいのではないかと。子どもたちの「やる気」のためにも。</li> <li>・生徒児童はもちろんだが、地域の方々が学校に足を運び、発表や作品を見ってもらうことは喜びにつながると思う。開催方法やみんなへのお知らせ方法に工夫が必要かもしれない。</li> </ul>
---

## 事務事業評価シート

施策名	特別活動の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	大会派遣費補助事業		

事業の目的・内容	町内の小学校又は中学校に在籍する児童生徒を対象に、スポーツ・文化活動における大会へ参加するための費用を補助する事業。 保護者の負担を軽減するとともにスポーツ・文化活動の振興を図るものである。		
事業の対象	小中学校、スポーツ少年団など		
事業費	年度	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算
	金額	3,703 千円	3,848 千円
			令和 7 年度予算
			5,105 千円

事業の実績・成果等 (数値)	(中学校) 地区大会：吹奏楽 県大会：吹奏楽、陸上、バドミントン、柔道、卓球、スキー 東北大会：ハンドボール、陸上、柔道、スキー 全国大会：スキー …19大会 2,956,169円
	(小学校) 地区大会：マーチングバンド部 全国大会：野球、空手、ハンドボール、スキー、スノーボード …7大会 1,085,575円
補助対象経費【補助率】 参加料【2分の1】、交通費【2分の1】※指導者引率者は全額 宿泊費【2分の1】※指導者引率者は全額、その他プログラム購入費等	

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
	自己評価	A 優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	開催される東北大会や全国大会も多く、特に令和5年度と比べ、小学校で本事業を利用した大会数が増加した。 大会費用を補助することでスポーツをする子どもの保護者の負担を減らすために必要である。本事業を町のスポーツ活性化に役立てて、今後とも継続していきたい。		
今後の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	A
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・不公平感のない対応をお願いしたい。</li> <li>・経済的な理由で大会参加を諦めることがないように継続をお願いしたい。</li> <li>・継続を強く希望します。</li> <li>・多種多様な大会への派遣費の補助がされており、今後も是非継続していくべきと考える。</li> <li>・町内の各スポーツ団体、部活動、文化活動に参加している全ての子どもたちを応援する事業なので、不満のない形で行ってほしい。</li> </ul>
---

#### 評価委員意見(令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者負担を軽減するいい取組だと思う。町民の理解を得て継続していただきたい。</li> <li>・経済的な理由で大会参加を諦めることがないように、継続をお願いする。</li> <li>・1団体としての補助金がどう使われているか分からないが、不満や希望・現状に耳を傾けていただきたい。</li> <li>・広く補助がなされており、今後も継続してもらいたい。</li> <li>・引き続き継続を希望する。すべての団体に公平に。</li> </ul>
--

## 事務事業評価シート

施策名	体育・健康教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	学童スキー大会の開催		

事業の目的・内容	①町内学校の冬季体育（学校スキー）を通して、運動能力の向上を図る。 ②大会参加を目指して練習・努力する過程を通して、人間性の育成を図る。 ③ルールに従い培った能力を表現する活動を通して、正しい競技参加能力を育てる。			
事業の対象	小学6年生（例年であれば小学4年、5年、6年生）			
事業費	年度	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
	金額	3千円	80千円	190千円

事業の実績・成果等 (数値)	教育振興会主催の事業であり、運営に係る費用は町からの補助金となる。		
	R1	通常の形態での開催（新型コロナウイルス感染症の感染拡大前）	
	R2	参加児童を小学6年生に限定して開催	
	R3	開催中止（新型コロナウイルス感染症の影響による）	
	R4	参加児童を小学6年生に限定して開催	
	R5	開催中止（雪不足と悪天候の影響による）	
	R6	参加児童を小学6年生に限定して開催	

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	スキー場の使用可能範囲が狭まったことから、スタート位置等が変更され、混雑が予想されたものの、結果的には会場の事前準備が不要となり、運営にも支障がなかったことからコンパクトな大会運営が実施できた。学校統合に向け、大会の在り方を含めて今後も検討しつつ、可能な限り実施していきたい。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	B
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場の負担軽減を検討する必要あり。(今後、必要かも含めて)</li> <li>・スキー発祥の地として継続をお願いしたい。</li> <li>・スキー場のリフトの復旧はなかなか困難と見受けられるが、アルペンではできなくても、クロスカントリーの方のケアを大切に、野辺地町ならではのスポーツの1つとなってほしいと願っている。</li> <li>・今後どのように展開するかは不明だが、大会休止となっても日常の授業でのスキーは続けてほしい。</li> <li>・野辺地町といえばクロスカントリースキーの伝統の町であると町民のほとんどが認識していると思うので、できれば継続してほしい。</li> </ul>
---

#### 評価委員意見(令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパクトな大会運営により、負担軽減につながったと思う。可能な限り継続をお願いする。</li> <li>・スキー場の使用場所が限られているのは大変残念としか言いようがない。今後も続けていけるか不安であるが、野辺地町としては継続してほしいと希望する。</li> <li>・学校統合後の大会のあり方は早急に検討すべき。</li> <li>・スキー発祥の地なのでスキー大会は残してほしい事業であるが、昨年の開催方法を見て大変危険だと思った。アップする場所も狭く、子どもたちが不憫に思えた。</li> </ul>
--

## 事務事業評価シート

施策名	体育・健康教育の充実	担当課名	学校給食共同調理場
事務事業名	栄養教諭による食育指導		

事業の目的・内容	[目的] 自分で自分の健康を考えて食べ物を選んだり組み合わせたりできるよう、必要な知識や考え方を指導する。 [内容] 出前授業：小学校全クラスに栄養教諭が出向いて、食育に関する授業を行う。また、児童を観察しながら、一緒に給食を食べる。			
事業の対象	小学校児童			
事業費	年度	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算
	金額	－ 千円	－ 千円	－ 千円

事業の実績・成果等(数値)	・栄養教諭による食育指導状況 野辺地小学校 9回 若葉小学校 9回  ・バイキング給食実施回数 2回 野辺地小学校(5年生) 若葉小学校(5・6年生)			
---------------	---	--	--	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分にできている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	【成果】 栄養教諭と共に学び、共に給食を食べることが小さなきっかけとなり、嫌いな食材を食べることができたり、いつもより多く食べたりすることができるといった効果もある。 【課題】 学校・家庭との連携が重要である。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	A
------	---

評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

評価委員意見(令和6年度)

・専門性の高い栄養教諭による指導は、その授業を受ける児童だけではなく、担任はじめ教員の食生活改善につながっている。

・これからも食事と栄養の大切さを学ぶ機会として必要だと思う。

・食べた物で体は作られること、何をどのように食べたら良いかを学ぶ大切な時間なので、今後も続けてほしい。

・食育も大切なことであり、負担も多いとは思いますが、続けてもらいたい。

・生きるということは食べることと直結するので、小さい時から関心を持ってもらうため、大変有意義な事業だと思う。

## 事務事業評価シート

施策名	生徒指導の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	教育相談室設置事業		

事業の目的・内容	町勤労青少年ホーム内に野辺地町教育相談室を設置し、悩みを抱えている子どもたちや保護者、教職員に対して支援や助言を行う。 主任教育相談員1名・相談員1名、スクールソーシャルワーカー(SSW)1名。 相談受付：月～金、9時～15時		
事業の対象	児童生徒・保護者・教師		
事業費	年度	令和5年度決算	令和6年度決算
	金額	5,146千円	5,767千円
			令和7年度予算
			6,446千円

事業の実績・成果等(数値)	<p>○相談実績 (総計 409名)</p> <p>面接相談(来室・訪問等) 小学生60 中学生170 高校生21 他14 計 265名</p> <p>電話・メール相談 小学生49 中学生77 高校生11 他7 計 144名</p> <p>○通室活動実績</p> <p>中学生4名、小学生1名の通室があった。(通室日は学校出席日数に換算)</p> <p>○スクールカウンセラー(SC)の配置(小学校担当1名、中学校担当1名)</p> <p>・年間配置数は野辺地小20日、若葉小20日、野辺地中40日</p> <p>・延べ相談者数は野辺地小4名、若葉小10名、野辺地中56名</p> <p>○巡回訪問</p> <p>・発達障害や家庭での保護者の関り等に起因する支援が必要な場合は、SSWや主任教育相談員が学校に出向き支援に当たる。</p>
---------------	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	ほぼ毎日通室している生徒もいるが、学校に通いながら週2、3回程度通室している子どもたちが多く、相談員は、それぞれの学校との情報共有と連携を大切にしながら、通室生の実情に即した学習支援を行っている。また、教育相談室は、保護者や児童生徒、学級担任などが気軽に近況を報告したり、相談したりすることができる場になっている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	A
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<p>・児童生徒以外にも保護者や教職員にも対応していることが素晴らしいと思う。</p> <p>・年々全国的に増加している現状なので心の居場所、自分自身の存在に意味が持てるような働きを、今後も継続してほしい。</p> <p>・小学校から高校まで広く対応されており、教育職・保護者の負担を減らすためにも継続してほしい。</p> <p>・不安を抱える子どもたちに寄り添う事業なので、さらに強化して継続してほしい。子どもたちだけではなく、相談できる機関が学校のほかにあるというのは、親としても安心できる環境であると思う。</p>
--

#### 評価委員意見(令和6年度)

<p>・不登校児童生徒の居場所の一つとなっているし、その傾向が見られる子どもたちが校内にいた場合、相談窓口にもなっている。継続していただきたい。</p> <p>・これからも、相談や通室している子どもたちや保護者が安心できる相談室の継続をお願いします。</p> <p>・継続を望む。</p> <p>・多くの相談・活動実績があり、今後も継続していくべき事業と考える。</p> <p>・中学校の相談が多いのがとても気になる。年々数字が増えているように思うので、もっと踏み込んでいっていても良いのではないかな。</p>
---

## 事務事業評価シート

施策名	生徒指導の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	生徒指導委員会		

事業の目的・内容	・野辺地町内の小・中・高及び関係機関が一堂に会し、互いの取組や各校の状況について情報共有をし、子どもたちが安心して学校生活を送るための取組につなげる。 ・問題行動への対応や生徒指導上の未然防止策について、学校と関連機関がそれぞれの立場から意見交換を行い、児童・生徒理解と生徒指導担当教員のスキルアップを図る。			
事業の対象	小・中・高生徒指導教諭・野辺地町警察（生活安全課）・上北教育事務所（SSW）・教育委員会（指導室）・健康づくり課			
事業費	年度	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
	金額	10千円	10千円	10千円

事業の実績・成果等 (数値)	○教育振興会主催の事業であり、運営に係る費用は町からの補助金である。 ○年5回の会議を開催し、長期休業中の過ごし方（注意喚起）、登校指導（小・中・高連携で挨拶運動）、生徒指導上の課題や対応について情報交換を行い取組の改善につなげている。
-------------------	---

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	各校や関係機関からの情報提供を基に、町内における生徒指導上の課題の把握やそれぞれが実践している効果的な取組を知る機会となっているほか、長期休業中の過ごし方などを中心に児童生徒への指導内容を校種間で確認し合う場となっている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	A
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

・SNS利用の低年齢化が進んでいる。保護者への啓発について町主導で対応してほしい。  ・小、中、高、関係機関が連携して情報共有と意見交換できる機会は重要だと思う。  ・今後も情報を共有しつつ、お互いの問題を十分に理解し合える場となることを希望する。  ・担当課評価のとおり。
---

#### 評価委員意見(令和6年度)

・小、中、高、関係機関が連携して情報共有と意見交換できる機会は重要だと思う。  ・担当課評価のとおり。  ・継続を望む。  ・各学校間の情報共有は必要な取組であり、継続していただきたい。
---

## 事務事業評価シート

施策名	キャリア教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	人財育成事業(教育連携パートナーシップ協定事業)		

事業の目的・内容	平成30年7月に町教育委員会と町内の高等学校2校と締結した「教育連携パートナーシップ協定」に基づく取組として、町内の高等学校に在籍する生徒を対象に、長期休業中に民間の学習塾講師を招致し、短期講座を開催した。生徒の学力を向上を図り、4年制大学進学率を高めることにより、町内高等学校の魅力づくりに寄与する。 また、学力向上支援事業として外国語によるコミュニケーション能力を養うための短期間海外研修に係る費用を助成する。		
事業の対象	町内の高等学校に在籍している生徒		
事業費	年度	令和5年度決算	令和6年度決算
	金額	1,179千円	1,179千円
			令和7年度予算
			1,228千円

事業の実績・成果等(数値)	○高校生短期講座 夏期：令和6年7月29日(月)～8月2日(金) 場所：野辺地町中央公民館 【参加者】2年 野高 5名、青森東高 1名 計 6名 3年 野高 8名、西高 2名 計 10名 合計16名 冬期：令和6年12月25日(水)～27日(金) 令和7年 1月 6日(月)～ 7日(火) 場所：野辺地高等学校 【参加者】1年 野高 9名 計 9名 2年 野高 4名 計 4名 合計13名 ○海外研修 休止		
---------------	---	--	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分にできている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	参加した生徒からは「実際の入試で扱った問題を解くので実践力がついた」など肯定的な意見が大半であり、生徒の学力向上に寄与していると思われる。 また、保護者に「次もこのような講座を開催した場合、こどもを受講させたいか」というアンケートをとったところ、「思わない」と回答した者はいなかったため、引き続き事業を実施していきたい。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	A
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力、進学率の向上により、将来的には生徒数が増えることを期待する。</li> <li>・ 学ぶことへの楽しさをこの事業を通じて体験し、さらなる向上を目指せるチャンスになると思うので、継続を希望する。</li> <li>・ 地元高等学校の学力レベルを向上させる取組であり、参加者を増やす取組と合わせて継続してほしい。</li> </ul>
---

#### 評価委員意見(令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからも継続的に実施し、学力、進学率の向上により、将来的には生徒数が増えることを期待する。</li> <li>・ 継続を望む。</li> <li>・ 地元高校生の学力向上が図られるよう継続を望む。このことにより、生徒数の増加にも期待したい。</li> <li>・ 成果を出している事業なので継続を希望する。家庭・生徒に、もう少しこの事業に関心を持ってもらいたい。</li> </ul>
--

## 事務事業評価シート

施策名	特別支援教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	スクールサポーター配置の充実		

事業の目的・内容	町内学校において障害をもつ児童生徒や学習が遅れがちな児童生徒等の、特別な支援を必要とする児童生徒の生活や学習を支援するためのスクールサポーターを設置する。			
事業の対象	町内小・中学校			
事業費	年度	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算
	金額	25,384 千円	32,203 千円	43,070 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○配置人数の推移		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	野辺地小学校	5 人	5 人	5 人	6 人	6 人	6 人
	若葉小学校	5 人	5 人	5 人	6 人	7 人	7 人
	馬門小学校	2 人	1 人	1 人			
	野辺地中学校	2 人	1 人	1 人	2 人	1 人	

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
	自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
評価説明及び考察、課題	町内学校においては、特別な支援が必要な児童生徒は年々増加傾向にあり、学校が要求するスクールサポーターの人数も増えてきているため、。今後も企画財政課と調整しながら、できる限り学校の要望に応じていきたい。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	A
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町採用教諭も検討してほしい。</li> <li>・ 今後も必要不可欠な事業だと思う。</li> <li>・ 教職員の仕事は多く、勉強を教えるだけでなく日常の生活指導も含め細かく目を配り、トイレに行く間が無いくらいの時もある。一人一人のこどもたちが気持ち良く安心して学ぶ場に、スクールサポーターが必要な手となり足となり、共に協力して見守れるので、今後1クラス1人という形で配置されることを希望する。</li> <li>・ 配置人員も増加しており、今後も継続をお願いしたい。</li> <li>・ 先生方の負担の軽減はもちろん、こどもたちにとっても目をかけてくれる大人が多いことは不安の解消にもつながると思うので、継続を希望する。</li> </ul>
---

#### 評価委員意見(令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サポーターの先生方がいてくれて学校として助かっている。通常の学級に在籍する特性を有する児童が増加している中で、適切な支援をしていただいている。</li> <li>・ 各学校の要望に沿えるように事業継続をお願いする。</li> <li>・ 継続を望む。</li> <li>・ 児童生徒数が減少しているが、先生の負担を軽減するためにも継続が必要。</li> </ul>
---

## 事務事業評価シート

施策名	国際化、情報化に対応する教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	英語で元気なまちづくり事業		

事業の目的・内容	英語指導を行う外国語指導助手（ALT）の派遣事業。小学校からの英語コミュニケーション能力育成により、中学校への円滑な移行を図るとともに、英語教育に順応しやすい児童生徒の育成を図る。			
事業の対象	児童生徒、一般町民			
事業費	年度	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算
	金額	11,727 千円	11,437 千円	13,357 千円

事業の実績・成果等（数値）	令和3年度から外国青年招致事業（JETプログラム）による外国語指導助手を小学校2校に1名、中学校に1名を配置し、英語の授業において担当教員の補助を担っている。 また、英会話クラブ（図書館サークル）の活動に参加し、大人世代の英語学習を支援している。（※学校の英語授業に重点を置くため、令和7年6月から参加を停止した。）
---------------	---

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分にできている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	<b>B</b>	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	授業での指導の他、一般町民向けの英会話クラブでも指導を行い、世代を問わず英語に触れる機会の提供ができ、英語コミュニケーション能力の向上に寄与した。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	<b>B</b>
------	----------

#### 評価委員意見（参考：令和5年度の評価意見）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの頃から生の英語に触れられることはとてもいい事だと思う。</li> <li>・これからの社会は、英語を話せる人材が必要と思う。今後も英語が話せる、学べるチャンスを増やし、世界を知り、外国人が野辺地町を訪問しても紹介できるような町民が増加することを望む。</li> <li>・英語教育は大切であり、継続が必要と考える。ALTの町のイベントへの参加などで、活動のPRも大切かと思う。</li> <li>・小・中学校でのALTの活動は、大変有意義だと思っている。町民のための活動はもう少し周知して、知ってもらう必要がある。</li> </ul>
--

#### 評価委員意見（令和6年度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町によっては、保育園や幼稚園にも年数回派遣しているところもある。可能であれば検討していただきたい。</li> <li>・担当課評価のとおり。</li> <li>・町内で英語を中心とした集い（イベント等、例えばクリスマス会）をしていみたら楽しいと思う。年に一度でも英語でコミュニケーションをとっても良いのでは。英語が好きになる場も必要と感じている。</li> <li>・英語教育は必要であり、続けていくべきと考える。</li> </ul>
--

## 事務事業評価シート

施策名	国際化、情報化に対応する教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	ICT環境整備事業		

事業の目的・内容	国は「GIGAスクール構想」を掲げ、児童生徒1人1台端末の実現とそれらの高速大容量の通信を可能とする環境の構築を推進するため、これらに係る補助金が新設された。 本事業は、子供たちの資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を図るとともに、活用のための研修を実施するものである。			
事業の対象	町内小・中学校			
事業費	年度	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
	金額	14,006千円	8,413千円	15,702千円

事業の実績・成果等 (数値)	■ICT支援員の配置 青森大学ソフトウェア情報学部の学生4名をICT支援員(採用形態は会計年度任用職員)として採用し、授業や校務でのICTサポートを主な業務として1年間任用した。 ■学校ICT環境整備検討委員会(全2回) 令和7年度に予定されている学習用端末(iPad)および教職員用端末(ノートPC)、校務支援システムの導入に係る検討を実施した。		
-------------------	---	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。) <input type="checkbox"/> 達成できている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている <input type="checkbox"/> 達成できてない		
	自己評価	A    優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	学校におけるICTは、「とにかく使えばよい」というわけではなく、授業において、より効果的に指導するためのツールとして使うべきものである。現状としては、先生方の創意工夫により多様に活用されている。 今後は、校務の効率化のために必要な事業を行っていくことが必要であり、教員の業務効率化による働き方改革を行い、教員の業務負担軽減、教材研究の時間確保、児童生徒と接する時間の確保へとつなげることが、町の教育施策として重要である。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	A
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT支援員の資質向上を願う。</li> <li>・ICTはこれからも進歩し続けると思うので、先生方への継続的な研修の実施、サポートをお願いしたい。</li> <li>・継続を希望する。</li> <li>・担当課評価のとおり。</li> <li>・これからの社会では必須の事業なので、活動の継続を希望する。</li> </ul>
---

#### 評価委員意見(令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員の方には学校の要望を受けたシステムを開発していただいて助かっている。都会の学校のように、また県立学校のように学校HPを立ち上げて、更新作業をお願いできないか。</li> <li>・今後もICT活用のためのサポートは必要だと思う。</li> <li>・継続を希望する。</li> <li>・成果は上がっていると思われるが、ICT支援員のスキルはどうなのか。</li> <li>・ICT支援員のおかげで先生方の負担が減るとともに、誰が見ても分かる見える化が浸透してきていると思う。</li> </ul>
--

## 事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	小学校改築事業		

事業の目的・内容	既存校舎の躯体・設備全般における老朽化の解消と、学校の小規模化による諸問題の解消を図るため、国庫補助金を活用しながら統合小学校の新築を行うもの。		
事業の対象	野辺地小学校改築工事及びその他関連事業		
事業費	年度	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算
	金額	12,570 千円	72,350 千円
		令和 7 年度予算	115,153 千円

事業の実績・成果等(数値)	<p>令和4年度の予備調査、令和5年度の追加調査を基に、国庫補助要件となる耐力度調査の本調査を実施したところ、調査した全ての箇所が4,500点の基準を下回り、危険な状態であることが判定されました。また、令和5年度に検討を重ね、令和6年5月に策定した基本構想を基に基本・実施設計について総合評価落札方式により入札を実施し、基本設計業務を実施した他、測量業務・地質調査業務を実施しました。</p> <p>○統合小学校新築事業検討委員会（全9回） ○統合小学校新築事業関連業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野辺地小学校校舎等耐力度調査業務 [決算額：6,908,000円]</li> <li>・野辺地小学校改築工事設計業務 [決算額：47,313,200円]</li> <li>・野辺地小学校測量業務 [決算額：7,370,000円]</li> <li>・野辺地小学校地質調査業務 [決算額：10,758,000円]</li> </ul>		
---------------	--	--	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<p>教職員、保護者、議員、一般町民からなる検討委員会において、建物配置、必要諸室、外構計画及び設備等を検討・議論を行いながら、基本設計を完了しました。</p> <p>事業費について、人件費、材料費等が高騰を続けていることから、設備等の可否を精査し、また検討委員会に諮りながら事業を進めていきたいと考えています。</p>		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	A
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課評価のとおり。</li> <li>・大きな事業なので、何をやるにも心配りがかかせない。今後も良い物を良い形にして後世に残すために、大変だと思うが進めてほしい。</li> <li>・大きな事業であり、十分慎重に進めてほしい。</li> <li>・慎重な議論のもと、常に精査しながら事業を進めていただいているようなので、その姿勢でこれからも活動の継続を希望する。</li> </ul>
---

#### 評価委員意見(令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度から始まる工事に向けて会議も大詰めを迎えている。後世に誇れる事業となってほしい。</li> <li>・担当課評価のとおり。</li> <li>・教育の町・野辺地町の今後の歩みに望みをもちつつ進めてほしい。</li> <li>・事業が本格的にスタートしており、関係者の議論を深め、事業を計画的に進めてもらいたい。</li> </ul>
---

## 事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	学校における働き方改革		

事業の目的・内容	令和2年9月に策定した野辺地町立学校における働き方改革プランに則り、長時間勤務の更生を図ることで、教職員の健康及び福祉を確保し、意欲と能力を最大限発揮して、子どもたちに効果的な教育活動を行うことができるようにする。		
事業の対象	教職員		
事業費	年度	令和5年度決算	令和6年度決算
	金額	0千円	453千円
		令和7年度予算	96千円

事業の実績・成果等(数値)	主な取組 ・学校閉庁の実施(令和6年8月13日～16日) ・職員室へ大型モニターの設置 ・【県事業】学校業務改善伴走型支援事業の実施(野辺地中学校) 等 時間外労働時間集計[R6] ・小学校 1人当たり月21.5時間(R5年度1人当たり月22.8時間) ・中学校 1人当たり月42.8時間(R5年度1人当たり月47.1時間)		
---------------	--	--	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない

自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
評価説明及び考察、課題	時間外労働時間の昨年度同時期との比較では、小・中学校ともに減少しているため、効果はあると思われる。 今後も継続して時間外労働の減少に努め、子どもたちへの効果的な教育活動につなげたい。	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了	

### 事務評価委員の評価

総合評価	B
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対する啓発は、町側が主体となって実施してほしい。</li> <li>・教職員の仕事量が適正なのか検証も必要かと思う。もし必要であれば教職員の増員や、13ページのような支援員の配置の検討も必要ではないか。</li> <li>・残業しなければならないそれぞれの事情があると思う。授業の準備はもちろん、児童・生徒の指導、保護者等の対応など苦勞が多い中、スムーズに事が運び、ストレスがないような形をとれるようになってほしい。</li> <li>・教職員の確保のためにも大切な事業と考える。</li> <li>・町で制定した改革プランがうまく機能していないようなので、関わっている方々がお互いのために、早目の問題解決及び原因の追及を行ってほしい。</li> </ul>
---

#### 評価委員意見(令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な形で教育委員会の「学校を変える働き方改革」支援は行われていると思う。後は学校の教職員の意識改革や国のカリキュラム改善になってくると思う。</li> <li>・すぐに大きな成果が出るのは難しいと思うが、継続して長時間勤務の改善につながることを期待する。</li> <li>・先生方は、忙しさの中でも努力していると思う。</li> <li>・教職員の働き方改革は重要な事項であり、積極的に進めてもらいたい。</li> <li>・部活の地域クラブ化、支援員の配置、ボランティアと様々な手助けをしているのにもかかわらず、残業が減らない理由を明確化してほしい。</li> </ul>
---

## 事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校給食共同調理場
事務事業名	給食費無償化		

事業の目的・内容	青森県学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金を活用し、児童・生徒の保護者が負担する給食費を無償化することにより、子育て世代への経済的支援を図る。			
事業の対象	要保護・準要保護者を除いた、町内小中学校に通学している児童・生徒の保護者			
事業費	年度	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算
	金額	— 千円	18,385 千円	35,195 千円

事業の実績・成果等 (数値)	<p>令和6年10月から完全無償化とし、保護者への経済的支援ができた。</p> <p>事業費 18,385,980円                  県交付金 16,039,000円                  町負担分 2,346,980円</p>
-------------------	---

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	<b>B</b>	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<p>【成果】近隣市町村では無償化を既に実施している状況の中、当町も県交付金を活用して、保護者への経済的支援ができた。</p> <p>【課題】県が交付金事業を廃止し、町が独自に事業継続する場合、町負担が大きくなる。</p>		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	<b>B</b>
------	----------

### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

### 評価委員意見(令和6年度)

- ・児童の中には、月・水曜日の米飯持参ができていない子もいる。その2日間も給食センターから米飯が提供されることを望む。
- ・保護者も助かっていると思う。物価高で町の負担も増加すると思うが、継続的な支援を希望する。
- ・今後、町の負担が増加するのが心配。
- ・子育て世代への経済的負担軽減は大いに評価できるが、今後の県交付金の動向に左右される不安定さを感じる。

## 事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校教育課
事務事業名	教育広報の発行		

事業の目的・内容	町の教育活動や施策などの情報を分かりやすく伝えるための広報誌「のへじの教育」を発行し、地域全体の教育意識向上と協力体制の強化を図る。 平成23年度から実施し、令和2年度からは年1回の発行としている。			
事業の対象	町民一般（各家庭に毎戸配布）			
事業費	年度	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
	金額	99千円	99千円	121千円

事業の実績・成果等 (数値)	令和6年度は令和7年4月1日に第18号を発行（6ページ）。			
	主な掲載内容 ・町の歴史を知る教育委員会の取組 ・令和7年度教育委員会主要事業、予算概要 ・町内各学校の取組 ・第4期野辺地町教育振興基本計画の策定			

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	<b>B</b>	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・町広報誌や学校だよりでは紹介しきれない教育委員会業務、学校活動などを掲載し、教育の透明性に高めている。 ・多様な世代に見てもらうため、令和7年8月に運用を開始した町の公式LINEからも容易にデジタル版を閲覧できるような仕組みづくりを検討する。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	B
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた予算で大変だと思うが、表紙の写真だけでもカラーにしたらインパクトがあると思う。</li> <li>・具体的な分かりやすい教育広報が町民へ届けられることを希望する。</li> <li>・担当課評価のとおり。</li> <li>・年1回の発行では「教育の町」とうたっている町としては、思いが薄いのではないかととらえられても仕方ないと思われる。</li> </ul>
--

#### 評価委員意見(令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の、学校や教育行政の理解促進につながっている。</li> <li>・ニーズはあると思うので、継続をお願いします。</li> <li>・継続を望む。</li> <li>・やはり教育広報として年1回は寂しく感じる。複数回の発行を目指しては。</li> <li>・LINEからも閲覧できるデジタル化を強く望む。町の情報がLINEで一目で分かるのはとても便利で、安心して暮らせる町づくりに役立っていると思う。</li> </ul>
---

## 事務事業評価シート

施策名	学校支援活動	担当課名	学校教育課
事務事業名	学校支援推進事業		

事業の目的・内容	教員だけでは対応しきれない学校の教育活動を地域住民のボランティアで担っていただくことにより、地域とともにある学校づくりの推進と、児童生徒の健全な育成を地域全体で支えていく機運の情勢を図る。		
事業の対象	各学校		
事業費	年度	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算
	金額	207 千円	47 千円
			令和 7 年度予算
			52 千円

事業の実績・成果等 (数値)	・学校支援ボランティア活動を学校ごとに実施 地域住民の協力・支援の下、登下校の見守り活動、部活動や水泳教室の指導、施設の環境整備などの各種学校活動を安全かつ円滑に実施することができた。		
	(令和6年度組織状況) 野辺地小学校 見守り隊 18名 若葉小学校 見守り隊 24名 学校支援 39名 野辺地中学校 学校支援 13名 合計 94名		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	登校時の見守り活動は、子どもたちの安心感を高めることや、犯罪・事故の未然防止に大きく貢献している。 また、教員の負担軽減と子どもたちの成長支援にも寄与した。 なお、見守り隊員の確保対策として、町広報誌で2回(7月号、12月号)新規隊員の募集を行ったが、大幅な増員には至らなかった。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

### 事務評価委員の評価

総合評価	B
------	---

#### 評価委員意見(参考:令和5年度の評価意見)

<p>・PTAと連携した募集(PTA会員の父母など)や学校行事で来校した方に募集の案内をしてみるのはいかがでしょうか。</p> <p>・ここ数年、車での児童・生徒の送り迎えが増加。特に雨天時や雪の日は歩いている姿をほとんど見ることがなくなっている。下校時は歩いている児童が朝よりは多いので、見守り隊の方々の働きには本当に心から御礼を申し上げます。高齢化も進んでいるが、これからも継続を希望する。</p> <p>・見守り隊の方々も高齢者が多くなっていると思うが、こどもたちの安心のため継続してほしい。</p> <p>・学校支援ボランティア、見守り隊の皆様への活動には心から感謝いたします。見守り隊の高齢化は大変気になるので、広報での募集だけではなく、様々なツールを活用して実施してほしい。</p>
---

#### 評価委員意見(令和6年度)

<p>・見守り隊の高齢化の課題はあるが、学校支援活動は今後も必要な事業だと思う。</p> <p>・見守り隊の新規の方々の参加を、今後どのような形をとりながら実施していくべきか考える必要があると思う。</p> <p>・子どもの安全・安心のため継続してもらいたい。ボランティアの確保も年々厳しくなると思われるので、手当支給も考えてはどうか。</p> <p>・毎年同じ課題があがっているため、本腰を入れて課題解決を望む。</p>
---